

## 2020(令和 2)年度 浜松市役所の事務事業に伴う温室効果ガス排出量について

2020(令和 2)年度の温室効果ガス排出量は 181,776t-CO<sub>2</sub> で基準年度(2013(平成 25)年度)と比べて 6.8%減少した。

基準年度と比べ、施設の運営に伴うエネルギー使用による排出量は 7.7%減少しているが、年度目標は達成できなかった。公用車の利用に伴う燃料使用は 14.2%減少し、年度目標を達成した。

また、2021(令和 3)年 4 月に浜松市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を改定し、2021(令和 3) から 2030(令和 12)年度までの 10 年間の計画を策定した。

### 原因別の温室効果ガス削減状況(単位: t-CO<sub>2</sub>)

区分	2013 年度 (平成 25 年度) 【基準年度】	2018 年度 (平成 30 年度) 排出量	2019 年度 (令和元年度) 排出量	2020 年度(令和 2 年度)			2030 年度(令和 12 年度) 【目標】		
				排出量 (前年度比)	基準 年度比	年度目標	排出量	削減率 (基準年度比)	
二酸化炭素	施設の運営に伴う エネルギー使用	101,419	94,969	94,308	93,616 (△0.7%)	△7.7%	△8.6%	56,387	△44.4%
	公用車の利用に伴う 燃料使用	2,352	2,200	2,099	2,018 (△3.9%)	△14.2%	△6.8%	1,660	△29.4%
	廃プラスチック・ 合成繊維の焼却	78,802	77,913	77,559	74,672 (△3.7%)	△5.2%	△16.7%	-	-
その他(二酸化炭素 以外の温室効果ガス)*	12,483	12,001	11,954	11,470 (△4.0%)	△8.1%	△10.0%	-	-	
温室効果ガス 排出量合計	195,056	187,083	185,920	181,776 (△2.2%)	△6.8%	△12.0%	-	-	

※ その他：一般廃棄物の焼却、下水・し尿処理等に伴って排出されるメタンや一酸化二窒素等。

※ 本目標には、2015(平成 27)年度末に県から移管された西遠浄化センター他 2 施設分は含まない。

西遠浄化センター他 2 施設 (25,887t-CO<sub>2</sub>) を含めると総排出量は 207,663t-CO<sub>2</sub> となる。

※ 2020 年度の年度目標は改定前の計画、2030 年度の目標は改定後の計画による。

### 施設の運営に伴う温室効果ガス排出量の内訳(単位: t-CO<sub>2</sub>)

(省エネ法に基づく「特定事業者(市長部局・上下水道部・教育委員会)」ごとに区分け)

部局名	2017 年度 (平成 29 年度)	2018 年度 (平成 30 年度)	2019 年度 (令和元年度)	2020 年度 (令和 2 年度)	前年度比
市長部局	63,874	63,044	63,099	60,959	△3.4%
庁舎等(下記以外)	39,690	37,424	37,183	34,990	△5.9%
廃棄物処理施設	12,403	13,809	14,393	14,337	△0.4%
病院施設	10,455	10,543	10,232	10,312	0.8%
消防施設	1,326	1,268	1,291	1,320	2.2%
上下水道部(上下水道施設等)	19,137	19,043	18,884	18,543	△1.8%
教育委員会(小中学校等)	12,546	12,882	12,325	14,114	14.5%
合計	95,557	94,969	94,308	93,616	△0.7%

※二酸化炭素以外の温室効果ガスを除く。

#### 【排出量増減の主な要因(前年度比)】

- 新型コロナウイルス感染症の影響による減少
  - アクティ浜松(A、C、Dゾーン) (△685t-CO<sub>2</sub>)
  - フルーツパーク (△252t-CO<sub>2</sub>)
  - 浜松アリーナ (△208t-CO<sub>2</sub>)
  - 国民宿舎奥浜名湖 (△127t-CO<sub>2</sub>)
  - あらたまの湯 (△185t-CO<sub>2</sub>) 等
- 小中学校等への空調設備の導入等による増加(1,846t-CO<sub>2</sub>)
- 改築による増加 看護専門学校(53t-CO<sub>2</sub>)